

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 010号

役立つ支援は 「つながる力」と「聴く力」

小河原 好弘さん

会社名：イオン株式会社 所属：グループ人事部

資格：産業カウンセラー、2級キャリアコンサルティング技能士、
国家資格キャリアコンサルタント



『小河原さんお気に入りの書籍』

【受講のきっかけ】

私は企業の人事部門で10年以上働いてきました。その中で強く感じているのは、組織の活性化のためには、今後は特に個人の視点に立った支援を行う必要があるということでした。個の支援にあたっては、相手に役に立つ支援をすることが重要であり、ひとりよがりの支援をしないことが求められると思います。そのためにカウンセリングの学習をしてみようと考えようになり、産業カウンセラー養成講座の受講を決めました。

講座を受講してみると、「傾聴ってそんなに大事なの?」「聴くばかりでなく、もっと素早く対応したらいいの」という気持ちが出てきました。しかし、講座が進むにつれ、クラスの仲間との学びの中で、学びが深まり、自分を見つめ直す良い機会となりました。

【資格取得後の活動状況】

資格取得後は、企業人事として、社内での人事面談やキャリア面談において学びを活かしています。企業においては、何事も素早く対応することが求められることが多くあります。しかし、役に立つカウンセリングは、「人とつながる力（ラポールの形成力）」と伴に、「聴き上手」であることが強く求められると思っています。さらに「聴く力」には「質問する」という意味があることも面談の実践の中で感じています。相談

者（≒社員）に丁寧に関わることは相談の質を高め、一見すると遠回りで時間がかかるように見えても、結果的には効率的で効果が高い対応であるということを実感しています。

また、面談による個の支援のみならず、個の支援をベースとした組織活性化にも取り組んでいます。組織活性化は、組織の中で働く人に成長機会やキャリアチャンスの提供によってもできると考えており、その施策としての人事制度づくりを行っています。このような個人と組織を繋ぐキャリア開発に向けては、筑波大学エクステンションプログラムの「キャリア・プロフェッショナル養成講座（試行実施）」に参加させていただくなど、今はキャリアコンサルティングを積極的に学んでいます。今後も、役立つ支援を行うために学び続けたいと思っています。

